

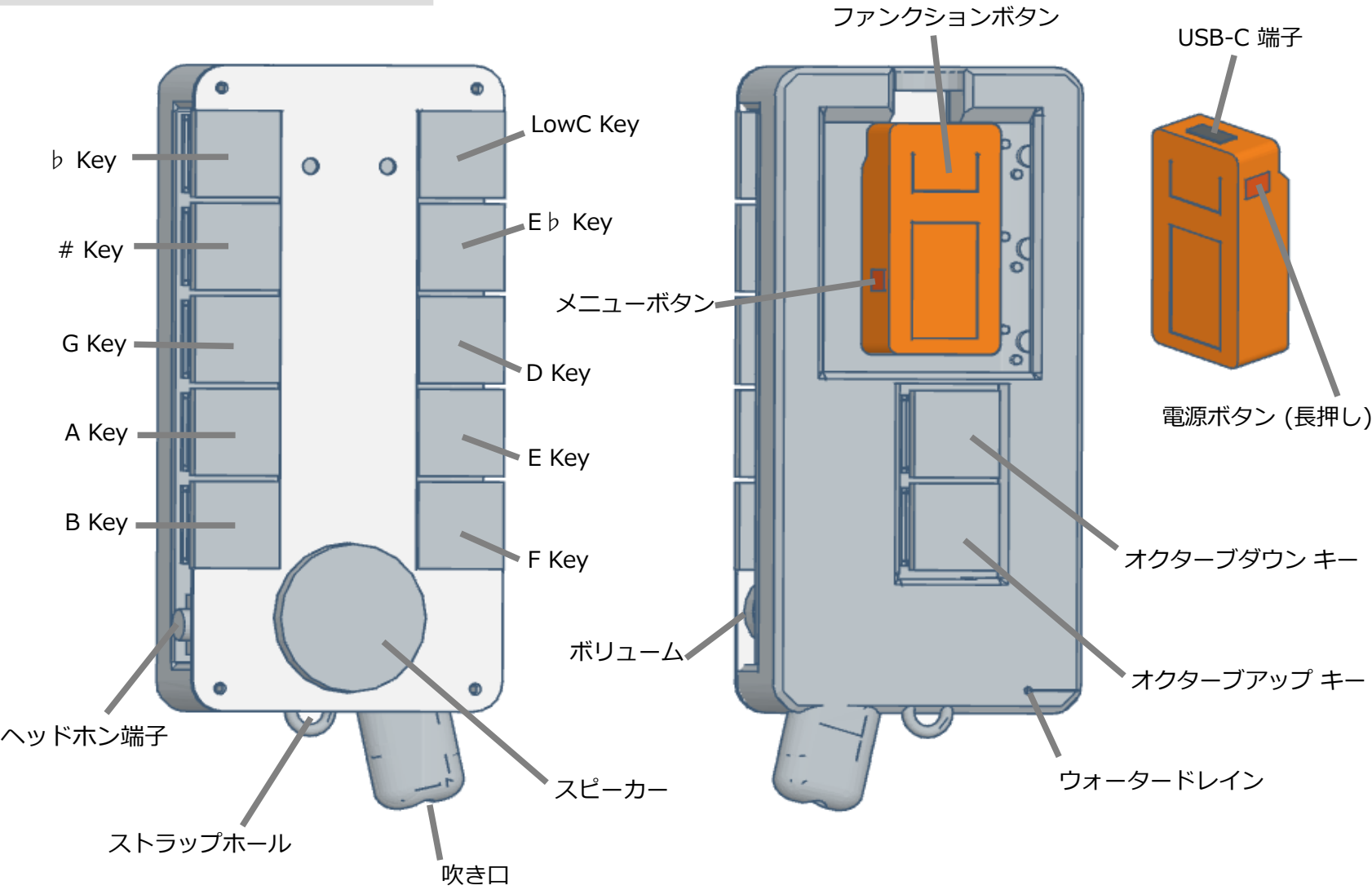
AFUUE2 取扱説明書

組み立て方法

下記リンクの動画を参考に組み立ててください。不明な点などありましたら連絡ください。
<https://youtu.be/tScsFEpitbk>
(右の QR コードからもジャンプできます)



各部名称



運指表

Diagram illustrating fingerings for the AFUUE2 instrument, showing musical notation and corresponding key diagrams.

The diagram shows two musical staves with notes and corresponding key diagrams below them. The key diagrams illustrate the fingerings for each note, with keys labeled with their respective notes (LowC, E♭, D, E, F, G, A, B, #, ♭).

各運指 + LowC + E♭ を同時押しすると、ベントダウンになります

これ以外にも色々な押し方が可能です

使用方法

電源ボタンを長押しすると画面が点灯し、演奏ができる状態になります。ボリュームを調整しながら吹き口から息を入れて演奏してください。

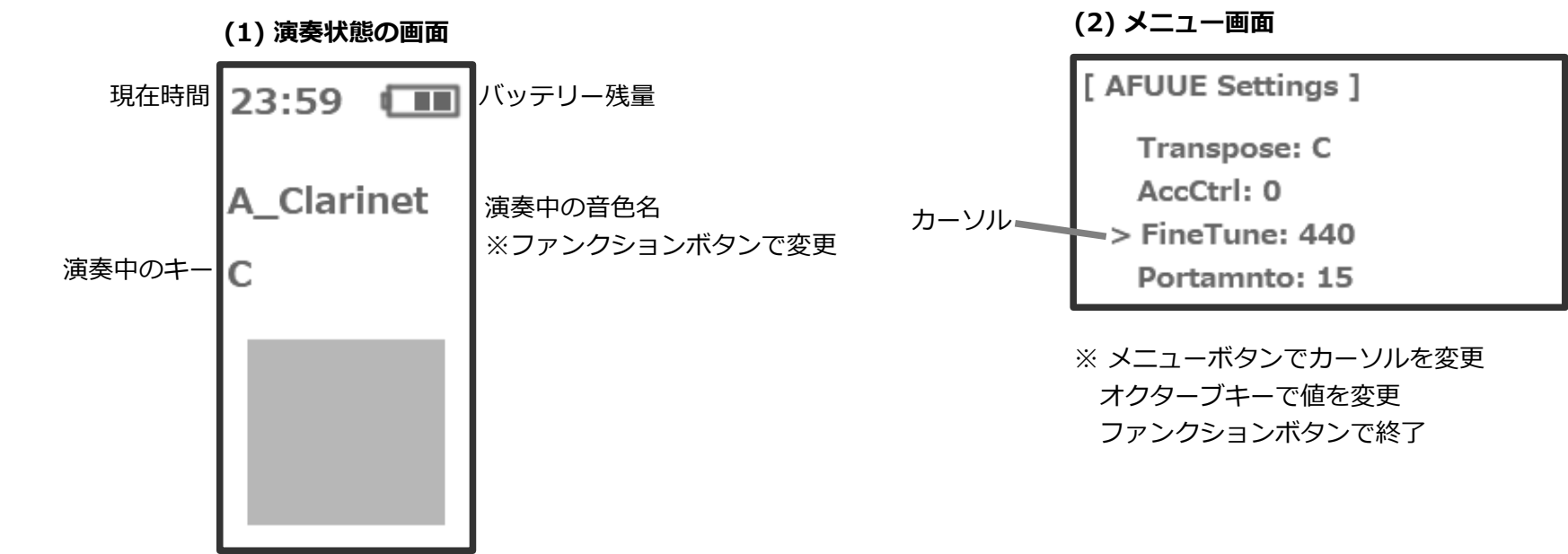
通常の演奏状態 (1) で、ファンクションボタンを押すと 4 種類の音色を順番に切り替える事ができます。

メニューボタンを押すと、メニュー画面 (2) になります。メニューボタンで項目の切り替え、オクターブキーで項目の内容を変更します。

メニュー画面でファンクションキーを押すと、通常の演奏状態に戻ります。

充電は USB-C 端子から行います。ヘッドホン端子にイヤホンやヘッドホンを接続するとスピーカーから音は鳴らなくなります。

ディスプレイ



メニュー項目

Transpose	演奏するキーを変更します。フルートだと C、アルトサックスだと E♭、アルトリコーダーだと F のような設定で実物に近くなります。
AccCtrl	(実験中の機能です) 0: 機能しません 1:本体の角度で音色が変わります
FineTune	ラ(A4) の音の高さを変更します。440Hz が国際標準です。441Hz, 442Hz は J-POP でよく使われるそうです。
Portamnto	音程を切り替えた時に、次の音に滑らかに変更する速度を変更します。
Delay	コンサートホールのような音の反響の強さを変更します。数値が大きいほど反響が強くなります。
KeySense	音程の切り替え時に余計な音が鳴らないようにキーの反応速度を変更できます。数値が大きいほど反応は鈍くなります。
BrthSense	吹く量と音の大きさの関係を変更します。数値が大きいほど鈍くなります。
Clock	現在時間を修正します。
KeyTest	(開発用の機能です) 最後に押されたキーの名前を表示します。
BrthTest	(開発用の機能です) キーが押された瞬間のブレスセンサーの値を表示します。
SpkTest	(開発用の機能です) オクターブキーの操作で、現在の音色で低い音から高い音まで鳴らして確認できます。

お問い合わせ

不明な点や、ご相談事、ご要望などございましたら、下記まで連絡ください。

Mail : otoone.dev@gmail.com
Twitter : @OtooneDev